

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901456		
法人名	医療法人社団 淳彩会 永山循環器科クリニック		
事業所名	医療法人社団 淳彩会 グループホーム やすらぎの里 (東)		
所在地	旭川市永山4条4丁目9番1号		
自己評価作成日	平成22年11月2日	評価結果市町村受理日	平成23年2月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・レクリエーションを積極的に実施している。・外出する機会を増やす努力をしている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigooho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172901456&SCD=320
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3番地北1条ビル3階
訪問調査日	平成22年12月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

商業地区に隣接した住宅地に立地した、木目調で家庭的な雰囲気が感じられるグループホームです。食堂は吹き抜けで自然の日差しが差し込み、利用者は思い思いの場所でゆったりと過ごしています。中庭では日光浴や家庭菜園を楽しむことができ、明るく開放感が感じられます。
ホームの理念に示されているように「地域の中での終の棲家」を目指しており、運営法人の医療機関との連携により、毎日の健康管理が行われ、希望に応じてターミナルケアの取り組みもしています。
職員は、和気あいあいと支援しており、職員間の関係性の良さがうかがえます。日常的なケアの場面から、職員の細やかな配慮が感じられます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・独自の理念を作り、その理念に基づき、共有して実践している。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念が作成され、その理念を実現するため、行動目標を整理しています。毎朝理念を唱和することで共有しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会に入り、行事の参加に心がけている。	町内会に加入し、敬老会行事に参加しています。保育園の園児が訪問して頂いています。地域の方々と挨拶をしたり、広報誌を回覧して頂き情報を発信しています。	地域の清掃活動については、利用者と一緒に参加を検討中です。利用者のできることを考え、積極的に地域活動の機会を検討し、地域の一員として交流できるよう期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・いつでも相談、見学ができるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・情報交換を行い、サービス向上に努めている。	会議では、利用状況の報告や意見交換を行い、課題を一つひとつ解決し、サービスの向上に活かしています。今年度から、一般スタッフも出席し意見交換をしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・2ヶ月に1度運営推進会議を行い、包括の職員に参加していただき、情報交換を行っている。又、市町村からの情報も取り入れている。	地域包括支援センター職員や市担当課と情報交換を行い、連携を図っています。地域包括支援センター主催の研修会に参加し、情報交換を行っています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・研修会参加、委員会を設置し話し合いを行い、職員に報告を行っている。	日中は、玄関の施錠はしていません。身体拘束防止の研修会に参加して、ホーム内で委員会を設置し、防止に向けた検討をしています。やむを得ず身体拘束が必要な場合は、所定の手続きをしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・勉強会を行い、その都度話し合いを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・研修会に参加している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・理解、納得が得られるように説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・意見、要望をいつでも話せる雰囲気作りを心がけている。	苦情窓口を明示し、意見箱を設置しています。家族会があり、意見交換の機会があります。面会時に会話の機会を作り、意見や要望を確認するよう心がけています。	定期的に日々の暮らしぶりを伝えていくことで、家族から意見や要望が伝えやすくなると思われます。サービス利用満足度のアンケートを実施するなど、家族の潜在的なニーズの把握をする取り組みを期待します。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・会議で話し合っている。	職員会議では意見や要望は出にくいので、日常的なミーティングで要望や意見を確認しています。日頃から会話を多くして、意見が出やすいように心がけています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・勤続年数で旅行に行ったり、ベースアップもある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・勉強会を行っている。又、個々に合わせた研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・研修会などで交流を図ったり、同業者のホーム見学や、行事に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・カンファレンス等を開き、話し合いを行い、本人が安心できるよう検討している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・その都度、家族や利用者本人との話し合いを持ち信頼関係を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・家族、医療機関からの情報収集に努め、個々にあった他のサービスも利用している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・日課の中で、本人の思いや考えを聴いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・良く来る家族、来ない家族がいるが、利用者さんの状況を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・来訪時などに、また来てもらえるように声掛けをしている。	地域に暮らす知人や友人との交流が続くように、一人ひとりの生活習慣を大切にしています。住み慣れた地域に出かけて、地域との関係性の継続に配慮しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・職員が間に入り、孤立しないで関わりをもてるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退去した利用者、家族の希望に応じ対応しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・希望があればそれぞれの意向に応えている。	利用者の生活歴や生活習慣、趣味や楽しみ、日々の暮らしを詳細に記録して、意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所時から本人の生活歴を把握し、それに合わせて実施している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・日々の様子や状態、体調の変化等を観察し、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・家族訪問時、希望等(本人・家族)を把握し話し合い現状に即した介護計画を作成している。	定期的モニタリングを行い計画を見直し、状態変化時は、その都度見直しをしています。計画とケア記録が連動しており、職員間で話し合い計画を検討しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・みんなで話し合い、記録の改善を行い、情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・利用者さん一人一人の希望を聞きレクリエーションや行事に取り入れている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・町内行事の参加や、保育園児との交流を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人や家族の希望を聞き、その都度対応を行っている。	希望するかかりつけ医に通院することを支援しています。通院内容はその都度に、また費用については毎月、家族に説明しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問時に互いの情報を交換して、介護につなげている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・施設の主治医が密に連絡を取り合い、報告を受けている。又、職員も入院先を訪問している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・終末期が近づいた時点で、家族、スタッフ、医師、看護師と話し合いを持ち今後の対応について、意志統一を図っている。	ホームの理念にあるように、ターミナルケアの希望があれば、対応可能な範囲で実施しています。看護師が配置され、重度化対応指針を定め、家族に説明しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・年に数回講習会を行い、緊急時に向けて備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年2回、避難訓練を行い、地域のひととの協力体制をとっている。緊急連絡網も作成している。	消防署や地域住民の方々の参加協力を得て、避難訓練を実施しています。現在、スプリンクラーと非常口を増やすための工事をしています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・その都度、個人に合わせて対応を行っている。	利用者の誇りを損なうような言葉や対応はしないよう心がけ、職員間で互いに確認合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・希望を聞き、自己決定できるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者さんの希望を最優先に支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・個々の好みに合わせ、身だしなみやおしゃれの支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の準備、片付けも快く引き受けて下さっています。利用者の声に耳を傾け、季節季節の食事を提供しています。	一人ひとりの意向やできることを考えて、食事に関わる役割りの場を提供し、声かけを行い、楽しく食事ができるよう配慮しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・利用者、個々の1日の水分量を把握して、食事量も考えて盛付しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・利用者の食後、就寝前の口腔ケアは、自立している人は、見守りし、出来ない人は、一部介助で行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・時間を決めて声かけ誘導を行っている。自立者は、見守り、時には一部介助で行っている。	排泄表による排泄間隔の確認や、落ち着かない行動など、動作から排泄意を把握して、できるだけオムツ類に頼らないトイレでの排泄を心がけています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分を摂り、食事には野菜を取り入れてもらっている。ホーム内を歩いたり、散歩に出かけたりしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・入浴日が決まっているが、希望の方は、夜間でも入浴出来るように対応しています。	入浴日は決まっていますが、一人ひとりの希望に応じて入浴回数や時間帯は対応しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・医師に相談、カンファレンス等を行い、安心出来るスキンシップ、会話等を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・その人の健康状態にあわせて、医師に相談し、服薬してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・散歩、行事、誕生会等を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・個々の要望に答え、協力しながら外出やドライブ、季節ごとに行動しております。	一人ひとりの希望に合わせ、近所に散歩に出かけたり、買い物やドライブなど、外出支援をしています。系列のホームのイベントホールまで、演芸観覧に出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・その都度、買い物などに出かけ、職員と一緒に支払いを行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・代筆など、その都度状況に応じて対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・個々に応じ居心地よく過ごせるように工夫する努力をしている。(音、光、色、広さ、温度など利用者さんの希望に沿って行っている。)	ホーム内は、木目調で温かみがあり、家庭的な雰囲気となっています。採光、室温に配慮し、レクリエーションで作った作品の飾り付けを行い、居心地良い環境作りに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・デイルームや各利用者さん同士の居室を自由に行き来している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人が居心地良い様に、なじみの物を置いてもらっています。	仏壇、写真、家具など、思い出の品々が持ち込まれ、落ち着ける居室になっています。住み慣れた家に近い環境で生活できるよう配慮しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・手すりの使用や、職員の見守りにより安全を確保しています。		